

子ども医療費無料化、18歳年次まで拡大する方向を町長表明

出浦議員の質問で大きく前進、子育て世代、保護者の願いに応えるため、来年4月1日からの実施に向けて事務的手続き進行中
国は、子ども医療費無料化を実施している自治体に対する国民健康保険の国庫負担金を減額するペナルティーを止めよ、地方自治体の
少子化対策の努力をさらに進めるため、9月定例議会「国庫負担金減額調整措置の廃止を求める意見書」を議決

9月定例議会報告

9月定例議会が9月6日から13日の日程で開催されました。議会では一般質問、決算認定、補正予算、条例改正などが審議されました。日本共産党の出浦正夫議員は町民の皆さんの声、寄せられた要望などをもとに一般質問を行いました。町の答弁、議決内容等をお知らせします。

子ども医療費無料化、18歳年次まで 拡大は町民の切実な声

急激に進む少子化の中で子育て世代への支援は極めて重要です。

出浦議員は、医療費無料化を18歳年次まで拡大するよう平成26年度より求め続けてきました。当時の町の姿勢は、「医療費無料化を18歳年次まで拡大することは、現状では難しいと考えています。」というものでした。

平成28年3月議会では、寄居町が27年12月から18歳年次まで拡大したことを受けて、「近隣自治体と歩調をあわせて実施できるよう検討する。」と答弁。

その後、白岡市が本年4月から実施、長瀬町が10月から実施するなどの動きがありました。

医療費無料化、来年4月から18歳年次まで拡大する方向で準備、町長表明

9月議会が出浦議員の「子ども医療費を18歳年次まで拡大できないか。」との質問に、町長は「来年4月からの18歳年次までの医療費無料化に向け事務手続きを進めている。」と答弁しました。

この答弁により18歳年次までの拡大が大きく前進しました。
今後、実施に向けて事務的手続きが進められることとなります。

担当課によれば、18歳年次まで拡大するためには、対象者の確認、新しいカードの作成、システムの変更等が必要になるとのことです。

制度の拡大に伴い新たに350人が対象となり、経費470万円ほどが見込まれるとされています。

国は、「子ども医療費助成へのペナルティーを止めよ」議会在見書議決

国は、子ども医療費無料化を実施している自治体に対して、国民健康保険の国庫負担金を減額するペナルティーを課しています。小鹿野町には、ペナルティーとして220万円の減額調整がなされているとのこと。そこで出浦議員は、「国庫負担金減額調整措置の廃止を求める意見書」を提案、賛成11名、反対2名で議決されました。

決算認定、補正予算への対応

出浦議員は、27年度決算の認定8議案のうち2か所の武道場、給食センター建設費等を含む一般会計決算、水道広域化事務経費等を含む水道事業決算については反対、他の決算には賛成しました。補正予算には賛成しました。

おがの民報 NO.27

日本共産党小鹿野町委員会

9月定例議会報告

2016年10月7日(金)

電話 79・0036

学童保育室の条件整備について

両神学童保育室の条件整備について質問しました。町立の学童保育室は両神学童保育室のみです。

昨年、旧両神幼稚園跡地に移転しただけです。学童保育室門柱への名称プレート設置、東側竹やぶ整備等を質問しました。

担当課では、予算の範囲内でプレートについては検討するとのこととです。

また東側竹藪等の整備については、シルバー人材センターとも協議して可能な限り対応するとのこととです。

敷地内の枝切り等の作業は複数回で実施できるように予算化できないか質問しました。担当課で検討するとのこととです。

学童保育料の軽減措置実施を求める

今年4月より長若小・三田川小にも学童保育施設ができました。学童保育については、年々保護者の必要性が高まっています。

兄弟で保育を希望する場合もありますので保育料の軽減を求める声は大きくなっています。

そこで学童保育料軽減措置の実施を求めました。担当課では、小

鹿野町の保育料は、長瀬町、横瀬町の保育料と比較して高いとは言えないので今のところ引き下げの予定はないとのこととです。ただし、他の自治体で引き下げの検討等あれば考えるとのこととです。

秩父市の学童保育料が1年生から6年生まで4200円、皆野町がこの4月から全学年無料化を実施したことを考えると小鹿野町の保育料1年～3年生6000円、4年～6年生5000円は、安いとは言えません。

保護者が安心して働くためにも保育料引き下げが求められます。

水道広域化、予想される料金的大幅値上げ

この4月から水道が広域化されました。広域では5年以内に料金改定を行い統一料金にするとしています。

現行では、すでに旧秩父市料金となつていますが、その差額分を一般会計から7500万円余、補てんして町民負担が高額になるのを抑えています。

5年以内の統一料金確定時に小

鹿野町民にとっては大幅値上げになることは確実です。今からその

対策を考えることが求められます。町長は、「水道料金の値上げ幅を抑え、町民負担をできる限り軽減できるよう広域に求めてまいりたい。」町としても、町民負担がなるべく抑えられるよう、さまざまな検証を行い、議会とも相談させていただきながら検討してまいりたい。」と答弁しました。

しかし、広域化計画では、大型工事を次々に計画しており料金高騰は必至です。広域化により、職員の増員、広域化前には自前できた設計管理業務まで外部委託化するなど余分な経費も目立ちます。広域化すれば国庫補助金が工事費の3分の1来ると説明してきましたが、実際にはその65パーセント程度ともいわれています。広域化には多くの問題があります。

「地域おこし協力隊」を小鹿野町にも派遣してもらうよう提案

産業振興をさらに進めるため、「地域おこし協力隊」派遣要請を提案。担当課では、必要なことなので検討すると答弁しました。

日本共産党 出浦正夫町議

議会報告会のお知らせ

日時： 10月19日(水)

午後6時30分～

会場： 小鹿野

文化センター2階

「おがの民報」では報告しきれない議会の動き、町政の課題を報告します。

この間の、武道場建設、水道広域化をめぐる問題点などを語ります。

また、この町が直面する少子化、地域の問題等にどうし対処たらいいか考えます。

皆さんどうぞご参加ください。